

【各試合の結果・詳細】

第1試合

天理大学ベアーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$ 4 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 3
0 勝 3 分 10 敗

勝点 13
3 勝 4 分 6 敗

<得点>

天理 :
山梨 : 35分#8松瀬、38分#5中畝地、46分#10田中、70分#10田中

<戦評>

日本リーグ最終節 この日の一試合目は天理大学ベアーズ対山梨学院 GROWING GLORIES。天理のセンターパスから試合が開始される。開始早々から山梨は激しい攻撃を仕掛ける。5分、山梨は天理ゴール前での決定的なチャンスを得るが決めきれない。その後12分、16分と山梨は2度のシュートチャンスを得るが得点には至らない。対する天理は32分、カウンターから山梨サークル内でシュートを打つがキーパーに止められる。35分、山梨はサークルトップからのシュートを#8松瀬がタッチシュートで先制点を挙げる。そしてホイッスルが鳴り前半終了、前半は1-0と山梨がリードする。
後半は両チームとも互いに引かない展開となった。38分、山梨#5中畝地がシュートを決め追加点を挙げる。続く40分、天理はPCを取得、しかし山梨守備陣の堅い守りによって得点をする事が出来ない。迎えた46分、山梨PCから#10田中がフリックシュートを決める。そして試合終了間際の70分、山梨はPCを取得、そこでホイッスルが鳴りラストワンプレーへ。ここで#10田中がフリックを決め試合終了、4-0で山梨学院 GROWING GLORIES が勝利した。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	中元 大輔
ジャッジ	一谷 徹		根岸 郁美

第2試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 5 $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

勝点 36
12 勝 0 分 1 敗

勝点 17
5 勝 2 分 6 敗

<得点>

コカ : 12分#18李、19分#6大田、27分#10為藤、48分#16金、53分#16金
東海

<戦評>

コカコーラのセンターパスで試合が開始される。序盤から両チーム共に激しい攻撃を仕掛けるもなかなかチャンスを作ることが出来ない。4分、コーラはキーパーと一対一のチャンス、キーパーを交してのプッシュシュートはDFに止められる。13分、コーラはPCを取得、#18李がシュートをゴール右隅へ決め先制点を挙げる。続く15分、東海がカウンターで攻めコーラサークル内へ進入、しかし得点までは繋がらない。そして19分、コーラのPCから#6大田がシュートを決める。24分、東海は速攻からPCを取得、2度のアゲインを経るも得点には至らず、そこからカウンターでコーラがPCを得る。そのPCを#10為藤がシュートを決める。
後半になってもコーラの勢いは止まらない。43分、東海は攻撃の流れからPCを獲得するが、PCはコーラ守備陣に止められる。48分、コーラは左サイドから#19金藤がサークル内へプッシュパス、それを受けた#16金がすかさずシュートし追加点を挙げる。53分、コーラの攻撃から#16金がリバースシュートを決める。65分、東海はPCを獲得するも得点する事が出来ない。69分、コーラはシュートチャンスを得るも決めきれず、このまま試合は終了しコカコーラが5-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	西松 孝治		相馬 知恵子

第3試合

南都銀行 2 $\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 1 & - 1 \end{pmatrix}$ 1 グラクソ・スミスクリン

勝点 23
7 勝 2 分 4 敗

勝点 13
4 勝 1 分 8 敗

<得点>

南都 : 27分#3眞鍋、60分#8爲藤
グラクソ : 68分#3川崎

<戦評>

南都銀行のセンターパスで試合が開始される。序盤から両チーム共に一進一退の攻防が続く。5分、グラクソはPCのチャンスを得るがシュートは決まらない。8分、次は南都がPCを得るも決めきる事が出来ない。13分、グラクソはPCを得るがまたも決まらない。そして迎えた27分、南都はPCから#3眞鍋がシュートを決め先制点を挙げる。このまま前半は終了する。後半に入っても両チーム共に均衡したゲーム展開を見せる。39分、南都がPCを取得、決定的なチャンスがあるものの決めきることが出来ない。42分、グラクソは攻撃の流れからシュートを打つが南都キーパーに止められる。60分、南都PCから#8為藤がヒットシュートを決め追加点を挙げる。続く62分、グラクソのPCは南都守備陣に止められる。後半68分、グラクソはPCを取得、#2平山がヒットシュートを決めて1点差に持ちこむ。このまま試合は終了し、2-1で南都銀行の勝利となった。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	寿山 由樹
ジャッジ	一谷 徹		山田 恵美

第4試合

立命館大学ホリーズ 0 $\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 0 & - 2 \end{pmatrix}$ 2 ソニーHC BRAVIA Ladies

勝点 6
1 勝 3 分 9 敗

勝点 37
12 勝 1 分 0 敗

<得点>

立命 :
ソニー : 45分#11佐藤、62分#4村上

<戦評>

立命のセンターパスで試合が開始される。開始早々からソニーは激しい攻撃を仕掛けるが、立命の固い守りによって得点する事が出来ない。18分、ソニーはPCを取得、フリックシュートは立命のキーパーに止められる。続く26分、ソニーはゴール前で決定的なチャンスを得るが決めきる事が出来ない。このまま試合は後半へ。後半に入ってもソニーの猛攻は止まらない。39分、ソニーはPCのチャンスを得るものの決まらない。続く40分、ソニーの攻撃から立命ゴール直前まで攻め込むが立命DFにチャンスを潰される。試合が動いたのは45分、ソニーはPCを取得、3度アゲインを経て#4村上がシュートを決め、先制した。48分、立命はPCを取得、しかしこれを決めることが出来ない。そして61分、ソニーはPCから#4村上が左上へフリックシュートを決める。続く63分、64分、68分、69分とソニーは4度のPCを獲得するが立命守備陣の堅守によって得点することが出来ない。そのまま試合は終了し、2-0でソニーの勝利となり、首位を守った。結果、明日の最終戦のコカコーラとの戦いで本年度の優勝を争うことになった。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	安岡 裕美子
ジャッジ	西松 孝治		宮川 敏充